



名神高速道路下り線大津サービスエリア

2023年2月期第1四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス
(3063)
2022年7月29日



会社概要



会社名	株式会社ジェイグループホールディングス
本社所在地	名古屋市中区栄三丁目4番28号
設立	1997年3月3日
代表者	新田二郎(代表取締役会長) 中川晃成(代表取締役社長)
資本金	50百万円(2022年2月末日現在)
従業員数	グループ計1,189名 ※内正社員数427名(2022年2月末日現在)

飲食サービス業を中心に関連事業を展開

当社グループは食文化を主軸とした総合サービス企業を目指し、フードサービスを中心に飲食事業、不動産事業、ブライダル事業、およびその他関連事業を展開しております。



子会社
株式会社ジェイプロジェクト
株式会社ジェイブライダル
株式会社ジェイフィールド
株式会社ボカディレクション
株式会社かわ屋インターナショナル
株式会社かわ屋東京
株式会社ジェイアセット
株式会社ジェイキャスト
NEW FIELD NEW YORK.LLC.
KAKEHASHI S.L.U.

※アウトドア事業はセグメント別業績では飲食事業に含まれております。

2022年5月26日に代表者の役職変更、追加を行っております。
新田二郎（旧役職：代表取締役⇒新役職：代表取締役会長）。
中川晃成（旧役職：取締役社長⇒新役職：代表取締役社長）。
代表取締役2名体制とするのは、今後の経営体制の一層の強化を図るためであります。

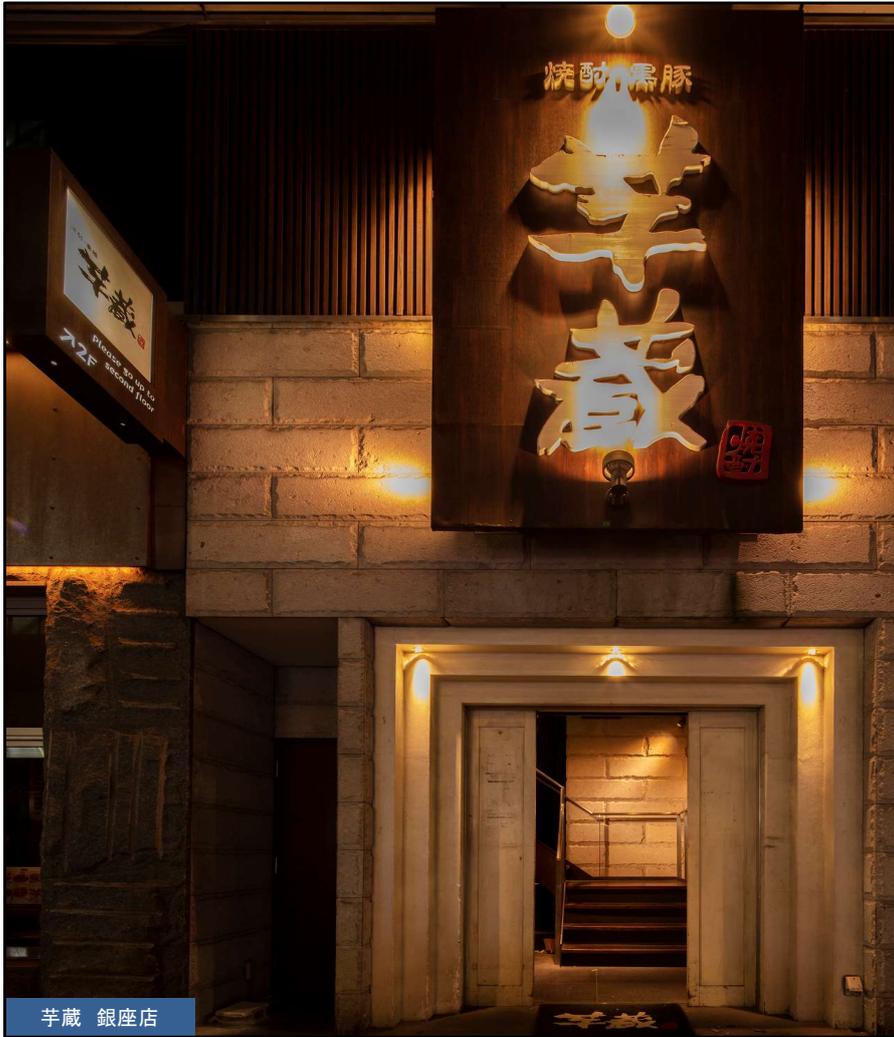
1. 連結決算概要

業績の概要	5
連結貸借対照表概要	6
セグメント別業績概要	7
店舗の営業状況	8
既存店収益状況	9
店舗数の推移	10

2. トピックス

新規事業の進捗	12
リニューアル店舗の進捗	13
資産の流動化と事業の整理	14
今期の業績見通し	15
株主還元について	16
創業25周年記念株主優待の実施について	17





芋蔵 銀座店

1. 連結決算概要



業績の概要



売上高:1,652百万円、営業損失:379百万円、純利益:67百万円

まん延防止等重点措置の解除により、連結売上高は前年対比238.3%へ増加。飲食事業単体では、通常営業ができる店舗が前年より大幅に増えたことにより、売上高前年比は262.7%となる。尚、継続しているコスト抑制策と時短要請協力金等の助成金により四半期純利益は67百万円。

	2022年2月期 第1四半期		2023年2月期 第1四半期		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	693	100.0	1,652 ①	100.0	238.3
売上原価	288	41.6	599	36.3	207.8
売上総利益	404	58.4	1,052	63.7	260.1
販売管理費	942	136.0	1,432	86.7	151.9
営業損失(△)	△537	-	△379	-	-
営業外収益	67	9.7	55	3.3	81.6
営業外費用	82	11.9	23	2.8	27.9
経常損失(△)	△552	-	△347	-	-
特別利益	552	79.7	569 ②	34.5	103.0
特別損失	405	58.5	148 ③	9.0	36.7
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△405	-	73	4.4	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△342	-	67	4.1	-

① 2022年4月以降まん延防止等重点措置の解除により連結売上高は前年対比238.3%へ増加。飲食事業単体では営業再開したことにより前年対比売上高262.7%となる。

② 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として実施した臨時休業に伴う時短要請協力金等の助成金569百万円特別利益に計上。

③ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として、店舗の臨時休業や営業時間短縮等の対応に起因する費用及び損失等109百万円を特別損失に計上。(コロナ特損)

5

当社は、不動産開発に伴う長期借入金において、支払金利を固定化し金利上昇のリスクをヘッジするために金利スワップ契約を締結しておりますが、洗い替えによる金利スワップ評価益として、期末に30百万円を計上しております。

なお、金利スワップ評価損益は、キャッシュフローの動きの伴わない期末日時点の時価評価であり、会計処理は、前期末日時点に計上された評価損益を当期に洗替処理して計上しております。

連結貸借対照表概要



(百万円)	2022年2月期 期末	2023年2月期 第1四半期	(百万円)	2022年2月期 期末	2023年2月期 第1四半期
資産の部			負債の部		
流動資産	2,927	2,511 ^①	流動負債	3,084	2,592
現金及び預金	2,259	1,363	買掛金	70	224
売掛金	92	256	短期借入金 ※ ¹	1,172	648
たな卸資産	94	104	その他	1,841	1,720
未収入金	220	527	固定負債	6,767	6,586
その他	295	293	長期借入金 ※ ²	5,779	5,625
貸倒引当金	△34	△34	その他	988	961
固定資産	7,811	7,648	負債合計	9,852	9,178 ^③
有形固定資産	6,299	6,216	純資産の部		
建物及び構築物	2,379	2,331	株主資本	881	978 ^④
土地	3,620	3,620	資本金	50	69
その他	298	264	資本剰余金	4,397	4,417
無形固定資産	389	367	利益剰余金	△3,489	△3,432
投資その他の資産	1,122	1,064 ^②	自己株式	△76	△76
繰延資産	4	3	その他の包括利益累計額	△16	△32
資産合計	10,743	10,163	新株予約権	-	-
			非支配株主持分	26	29
			純資産合計	891	984
			負債純資産合計	10,743	10,163

① 借入金の返済などにより現金及び預金が895百万円減少。休業協力金などにより未収入金が307百万増加。

② 店舗撤退等に伴い差入保証金が59百万円減少。

③ 銀行借入の調達および返済により、短期借入金、長期借入金が673百万円減少。

④ 新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ19百万円増加

※1: 一年以内返済予定長期借入金を含む

※2: 資本金劣後ローンを含む

2022年5月11日に第三者割当による第2回新株予約権（行使価額修正条項及び停止要請条項付）の発行をしており、新株予約権行使により資本金および資本剰余金が増加しております。

セグメント別業績概況



<飲食事業>

2022年3月21日に、まん延防止等重点措置が解除され通常営業となったことに伴い、売上高は**前年対比262.7%**。

<ブライダル事業>

婚礼施工組数や受注件数に一定の回復が見られたため婚礼施工前年同期比で売上高160.9%。

<不動産事業>

テナントビル「EXIT NISHIKI」や「ジェitel名駅」など賃貸**収入**が安定的な収益となっているため、前年同期比108.4%。

<その他の事業>

前期8月より新規事業として開始した人材派遣事業、2022年2月より開始したサウナ事業などにより前年同期比売上高272.6%へ大幅に増加。

(百万円)

		2022年2月期 第1四半期	2023年2月期 第1四半期	前年同期差額	前年同期比 (%)
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	542	1,442	900	262.7
	セグメント損失(△)	△345	△151	194	-
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	358	389	31	108.4
	セグメント利益	26	55	29	210.3
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	58	93	35	160.9
	セグメント損失(△)	△11	△16	△5	-
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	24	67	43	272.6
	セグメント損失(△)	△1	△55	△54	-
調整額	売上高	△297	△340	43	-
	セグメント損失(△)	△206	△211	△5	-
合計	売上高	693	1,652	959	238.3
	セグメント損失(△)	△537	△379	158	-

7

飲食事業につきましては、2022年2月期第1四半期は、緊急事態宣言等により、通常営業ができない店舗が多かったが、今期は2022年3月21日にまん延防止等重点措置が解除された以降は通常営業に徐々に戻ってきており、前年同期比262.7%となりました。

ブライダル事業については、婚礼件数が前期より改善している影響から前年同期比160.9%となっています。

不動産事業につきましては、テナントビルの賃料収入が安定的な収益となっているため、前年同期比108.4%となっています。

その他の事業につきましては、人材派遣事業とサウナ事業などの売上増加により前年同期比272.6%となっています。

店舗の営業状況



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
総店舗数(FC除く)	130	130	126	126	127	126	123	122	121	121	121	122	121	119	119
通常営業店舗数	11	8	7	8	11	1	1	99	108	112	7	7	107	108	109
(通常営業店舗/総店舗)	8.5%	6.2%	5.6%	6.3%	8.6%	0.7%	0.8%	81.1%	89.2%	92.6%	5.8%	5.7%	88.4%	90.7%	91.5%
営業短縮店舗数	81	33	26	68	68	32	32	3	2	0	49	35	0	0	0
休業店舗数	38	88	93	50	48	93	90	20	11	9	65	80	14	11	8

既存店売上高

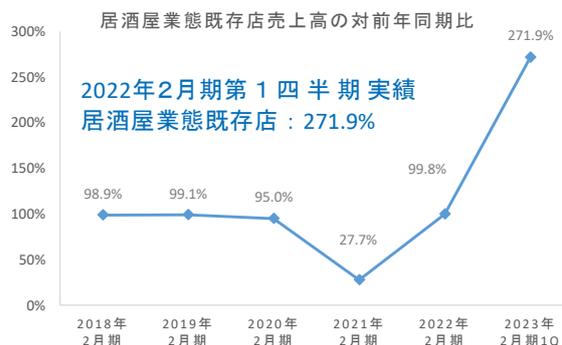


※時短・休業店舗も含む

2022年2月期第1四半期は、緊急事態宣言等により、通常営業ができない店舗が多かった。

2023年2月期第1四半期は2022年3月21日にまん延防止等重点措置が解除された以降は通常営業に徐々に戻ってきております。しかし、5月末時点で依然8店舗が休業中となっております。

既存店収益状況



		2021年						2022年		2022年2月期 実績	2022年			2023年2月期 第1四半期 実績	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月
居酒屋業態	売上高前年同月比	47.1%	64.2%	63.5%	23.4%	62.7%	119.6%	215.8%	444.2%	194.7%	99.8%	107.3%	261.3%	752.3%	271.9%
	来店客数前年同月比	84.0%	89.8%	99.5%	51.5%	77.4%	134.6%	235.9%	396.8%	177.6%	121.2%	106.5%	216.2%	410.7%	217.1%
	客単価前年同月比	56.0%	71.6%	63.8%	45.4%	80.9%	88.9%	91.5%	111.9%	109.6%	82.4%	100.7%	120.8%	183.2%	125.3%
レストラン業態	売上高前年同月比	128.4%	125.5%	127.0%	106.1%	107.0%	111.4%	133.3%	206.2%	154.3%	140.1%	180.1%	171.0%	281.3%	205.3%
	来店客数前年同月比	114.7%	124.8%	131.1%	103.5%	99.0%	101.9%	119.8%	179.0%	143.3%	131.3%	140.1%	153.0%	230.6%	169.0%
	客単価前年同月比	112.0%	100.5%	96.9%	102.5%	108.1%	109.3%	111.3%	115.2%	107.6%	106.7%	128.5%	111.7%	122.0%	121.5%
カフェ業態	売上高前年同月比	118.0%	109.4%	86.6%	54.7%	67.9%	87.2%	125.6%	118.2%	79.7%	104.6%	76.6%	94.6%	137.7%	99.2%
	来店客数前年同月比	126.3%	116.3%	84.4%	54.7%	67.3%	91.3%	128.8%	123.1%	90.0%	108.3%	81.0%	96.7%	145.2%	103.7%
	客単価前年同月比	93.4%	94.1%	102.6%	100.1%	101.0%	95.4%	97.6%	96.0%	88.6%	96.6%	94.6%	97.8%	94.9%	95.7%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

8ページの「店舗の営業状況」のとおり、2022年2月期第1四半期は、緊急事態宣言等により、通常営業ができない店舗が多かったが、2023年2月期第1四半期は2022年3月21日にまん延防止等重点措置が解除された以降は通常営業に徐々に戻ってきており、前年同期比は、急激に回復しています。既存店前年同期比で232.9%となっております。

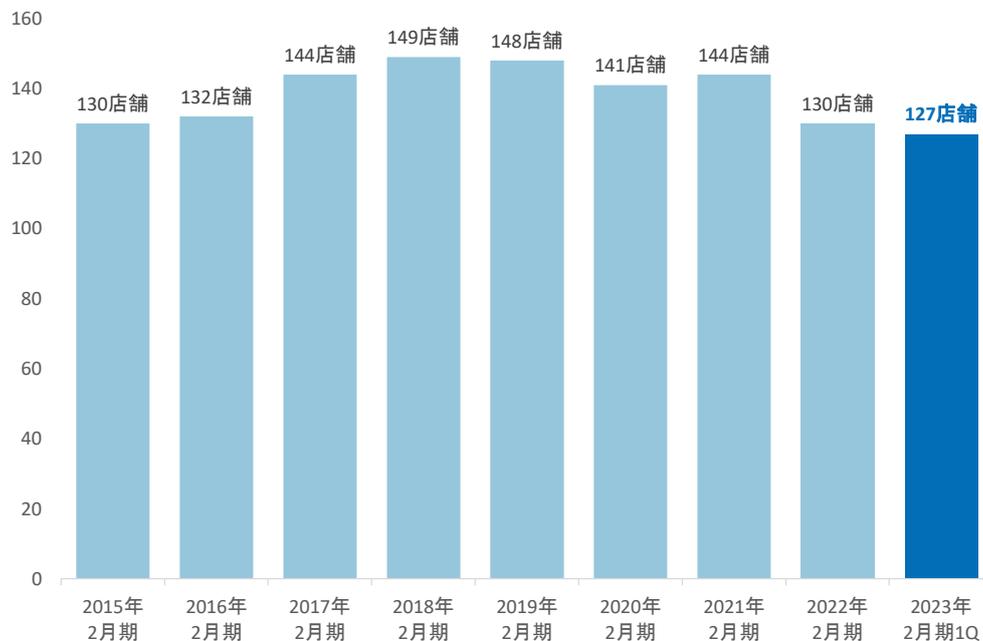
店舗数の推移



2023年2月期第1四半期時点で

新規出店1店舗・業態転換0店舗・退店4店舗となり

72業態、127店舗体制となる



10

新規出店は1店舗出店しております。(大阪王将 池下店)
退店は、契約期間満了、不採算店舗等 4店舗になります。

第1四半期終了時点では、72業態、127店舗の運営となっております。



寿司と串とわたくし

2. トピックス



ブランド業態のFCビジネス

- ✓ 認知度の高いブランド食事業態FCを開始
- ✓ 住宅地・郊外を中心に今後展開
- ✓ 大阪王将FC3号店を3月にオープン



アスナル金山店
2021年6月4日オープン

黒川店
2021年8月31日オープン

大津SA店
2021年11月1日オープン

池下店
2022年3月14日オープン

高速道路SA事業

- ✓ 名神高速道路下り線大津SAの一括運営



年月	概要
2021年10月1日	事業運営開始
2021年10月後半	テイクアウトコーナー
2021年11月後半	ドライバーズコーナーオープン
2022年2月後半	物販コーナーリニューアル
2022年3月12日	グランドオープン

2022年3月12日より全館のリニューアルが完了し本格運営を開始

前期より展開しております、FC展開ですが、大阪王将の3号店となる、「池下店」が2022年3月14日にオープンいたしました。FC展開は今後も順次進めていきたいと考えております。

高速道路のSA事業は、2021年10月より運営をスタートしております、「名神高速道路下り線大津SA」ですが、スタート以降順次リニューアルを進めており、2022年3月12日にグランドオープンいたしました。

当社にとっては、物販やドライバーズコーナーの運営など、新しい挑戦となっておりますが、順調に運営ができております。今後も、大津SAの安定運営を継続するとともに、新たな案件についても検討していきたいと考えております。

寿司と串とわたくし

SUSHI TO KUSHI TO WATAKUSHI

寿司と天ぷらとわたくし

SUSHI TO TEMPURA TO WATAKUSHI



- ✓ 脱総合居酒屋として若者をターゲットに本格寿司と串揚げを楽しめる専門居酒屋を展開。2号店は寿司と天ぷらのお店を展開。
- ✓ オリジナルの創作寿司など写真映えするメニュー展開し、Instagramを中心としたSNS販促に注力

リニューアル日	店舗名
2020年12月10日	寿司と串とわたくし
2021年4月20日	寿司と天ぷらとわたくし

現在、リニューアルして、両店とも1年以上が経過し人気店として成長

2022年5月の実績として、コロナ前比(2020年2月期)

「寿司と串とわたくし」 194.3%

「寿司と天ぷらとわたくし」 188.1%

2店舗とも、コロナ前を大きく超える実績を上げている

13

リニューアル後、業績が好調な業態をご紹介します。
2020年12月に「寿司と串とわたくし」、2021年4月に「寿司と天ぷらとわたくし」の2店舗をリニューアルオープンし、両店とも1年が経過し、まん延防止等重点措置も解除され、通常営業ができるようになり、この2店舗に関しましては、コロナ前に比べて、2022年5月の実績ですが、「寿司と串とわたくし」は194.3%、「寿司と天ぷらとわたくし」は188.1%と、大きく伸びております。

「脱総合居酒屋業態」として始めた、「専門居酒屋」がしっかり成長してきています。

今後も、リニューアル、新規出店も含めて、積極的に検討していきたいと考えております。

保有する商業ビル・レジデンスを流動化及び有効活用を進める

保有不動産



J-Group 本社・新九



ジェイテル名駅



EXIT NISHIKI



JG金山



ジュール則武

年月	売買	不動産
2019年2月	売却	J-Growth 大曾根
2020年1月	売却	G-SEVENS 刈谷
2020年7月	売却	ダイヤモンドウェイ
2020年7月	売却	物流センター
2020年7月	売却	ジュール広川
2021年4月	取得	J-Group本社ビル
2021年9月	売却	ジュール亀島

海外店舗の撤退

2022年2月に連結子会社であるNEWFIELD HONOLULU,INC(ハワイ)を売却
海外展開しているNEW FIELD NEW YORK,LLC.(ニューヨーク)・KAKEHASHI S.L.U.(バルセロナ)の2店舗に
についても同様に撤退の方針

現在保有している、5つの物件についても、流動化および有効活用を進める方針です。

海外店舗につきましても、当初の計画通り、撤退の方針に変更はなく、タイミングを見ながら進めていきます。

今期の業績見通し



	(百万円)			
	2022年2月期 通期実績		2023年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	4,703		10,442	222.0%
営業利益又は営業損失(△)	△1,888		107	—
経常利益又は経常損失(△)	△1,900		28	—
親会社株主に帰属する当期純利益または当期純損失(△)	△602		8	—
配当金 ※	中間 期末	無配 無配	中間 期末	未定 未定

※2023年2月期の配当につきましては、新型コロナウイルスの影響が現時点では先が見えず、合理的な配当予想の判断が困難なことから、現時点におきましては未定とします。

株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、より多くの皆様に事業への一層のご理解をいただくことを目的とし、**株主優待制度は引き続き実施いたします。**

また、株主様のご利用機会確保のため2022年5月31日を有効期限とする株主優待券を3ヶ月延長し2022年8月31日までとさせていただきます。

所有株式数	贈呈内容
100株以上200株未満	株主優待御食事券2,000円分(1,000円券×2枚)を年2回
200株以上600株未満	株主優待御食事券4,000円分(1,000円券×4枚)を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券8,000円分(1,000円券×8枚)を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券12,000円分(1,000円券×12枚)を年2回

代替商品のご案内

- 4,000円コース
猿Cafeブレンド
カタログギフトA
- 8,000円コース
黒豚さつまセット
カタログギフトB
- 12,000円コース
黒豚さつま豪華セット
カタログギフトC



株主優待制度に関しては、今後も継続させていただきます。2022年5月31日に有効期限を迎えている、株主優待券につきましては、有効期限の1年間は、休業していた店舗が多く、株主優待券をご利用いただける機会が少なかったため、有効期限につきましては2022年8月31日まで3か月延長させていただきます。

創業25周年記念株主優待の実施について



当社は、2022年3月に創業25周年を迎えました。これもひとえに当社をご支援いただいている株主の皆様のおかげによるものと、心より感謝申し上げます。つきましては、記念株主優待として御食事券を保有株式数に応じ追加進呈させていただいております。

対象となる株主様	贈呈時期
2022年2月28日を基準とする当社の株主名簿に記載又は記録された当社株式100株(1単元)以上を保有の株主様	2022年5月下旬発送 通常分株主優待券に同封
2022年8月31日を基準とする当社の株主名簿に記載又は記録された当社株式100株(1単元)以上を保有の株主様	2022年10月下旬発送 通常分株主優待券に同封

所有株式数	追加贈呈内容
100株以上600株未満	株主優待御食事券1,000円分を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券2,000円分を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券3,000円分を年2回



(例) 2022年2月28日時点で当社株式100株保有の場合
通常株主優待御食事券2,000円+記念株主優待御食事券1,000円=3,000円を年2回

【利用可能店舗の増加】

大津SA、博多かわ屋(直営店)、EXIT NISHIKI(直営店舗)、Private Sauna EXIT、紅白昔の矢場とんアスナル金山店

17

2022年3月に、創業25周年を迎える事ができました。これもひとえに当社をご支援いただいている株主の皆様によるものと、心より感謝申し上げます。

つきまして、記念株主優待として御食事券を保有株式数に応じ追加進呈させていただいております。

年2回を予定しております、1回目に関しましては、既に2022年5月下旬に配送させていただいております。

今期は、もう1回、2022年8月31日を基準とする当社株式を100株以上保有の株主様に2022年10月下旬に追加贈呈を予定しております。

また、ご利用できる店舗数も増やしております。新たに利用可能となりました店舗としましては、「大津SA」「博多かわ屋(直営店)」「EXIT NISHIKI(直営店)」「Private Sauna EXIT」「紅白」「昔の矢場とんアスナル金山店」となります。

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL : 052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。